

第1回 専門領域制度「スポーツ障害」研修会 報告

学術部 村田 守宏

平成27年4月5日(日)、第1回(公社)日本鍼灸師会 専門領域制度「スポーツ障害」研修会が名古屋医健スポーツ専門学校で開催されました。参加者は、40名。会場は、定員オーバーのため、急遽イス席を増設。その上、講師と受講者の熱気でムンムンでした。

そんな中、第一講義は、名古屋大学総合診療科 医師の松葉泰昌先生による「スポーツ傷害概論～さまざまなフレームを通して～」。

第二講義は、至学館大学短期大学部アスレティックトレーナー専攻科准教授 佐藤丈能先生による「スポーツ外傷、障害について」でした。以下、講義内容です。

◆第一講義 「スポーツ傷害概論～さまざまなフレームを通して～」

松葉先生には、第1回研修会ということで「スポーツ障害」総論をお願いしました。内容を要約すると。

- ① 学びのポイント、スポーツ障害(類義語)、スポーツ科学
- ② スポーツ医学の歴史(古代ギリシャ～19世紀イギリス、ヨーロッパ～現代)
- ③ スポーツ医学(メディカルチェック、救急処置)
- ④ スポーツ障害(投球障害肩、膝前十字靭帯損傷 ACL)
- ⑤ 一歩進んだ ACL 損傷の予防戦略

氏の穏やかな語り口と理論的な解説、そして「野茂秀雄投手」や「松坂大輔投手」の裏話もあり、楽しく内容の充実した講義でした。

◆第二講義「スポーツ外傷、障害について」

佐藤先生は、経験と実績のある臨床鍼灸師で動画と実技を交えた講義は、わかりやすく説得力のあるものでした。

講義は、「スポーツ鍼灸って」→「スポーツ鍼灸師ネットワーク」→「スポーツ外傷と障害の違い」→「スポーツ障害の起こる原因」→「ハムストリング、膝蓋靭帯炎、シンスプリントのメカニズムと治療法」と続き、実技ではハムストリングへの刺鍼(捻鍼 寸3、寸6使用)と検査法を披露されました。

- ・刺鍼点は、解剖学的に決定し、刺入、雀啄により筋の硬縮度を感じる。
- ・刺鍼は、2～3回に分けて実施。浅刺から深刺へ移行。刺痛は、多少あり。

30分ほどの実技でしたが、静まり返った会場から受講生の真剣さがとひしひしと伝わってきました。技の迫力。次回、機会があればテーピングも紹介していただきたいと思います。



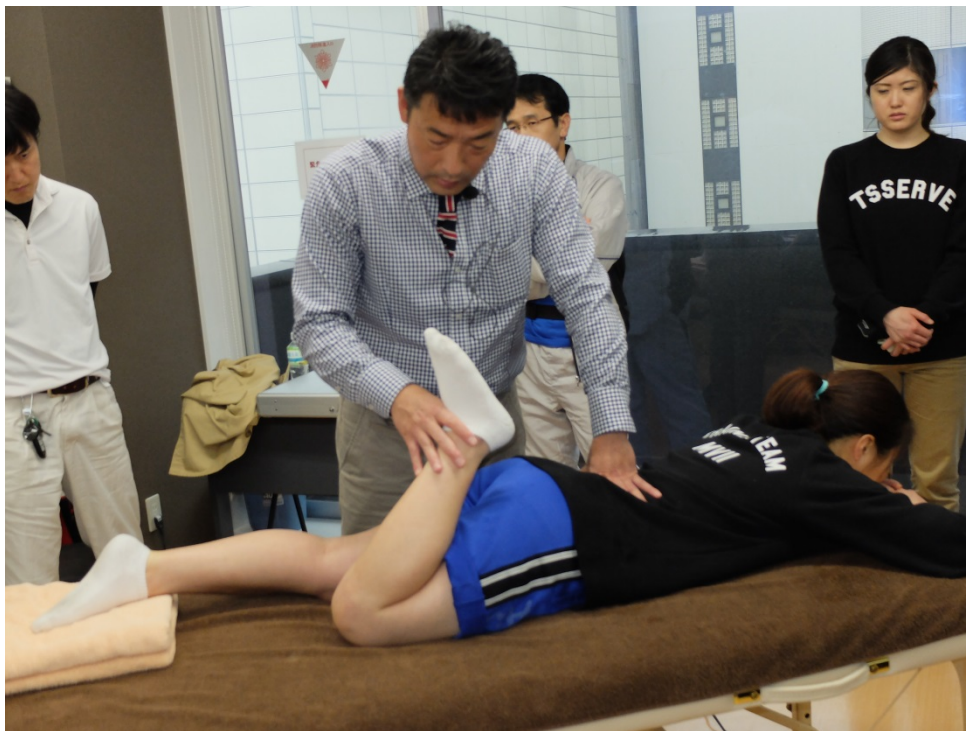
第1講義 松葉 泰昌先生



会場の様子



第2講義 佐藤 丈能先生



実 技 (ハムストリング検査)